

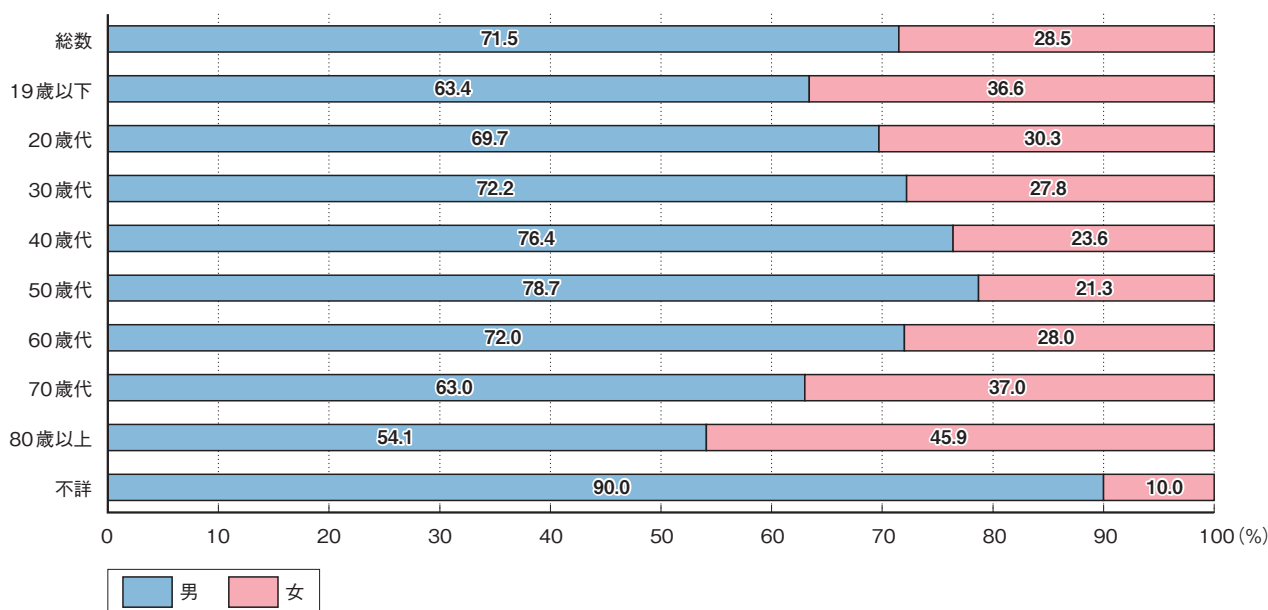
5 男女別の自殺の状況

平成21年における男女別の年齢階級別の自殺者数の構成割合についてみると、自殺統計によれば（第1-11図）、すべての階級において男性の占める割合が高い。特に、30歳代から60歳代までは男性が7割を超えて

いる。

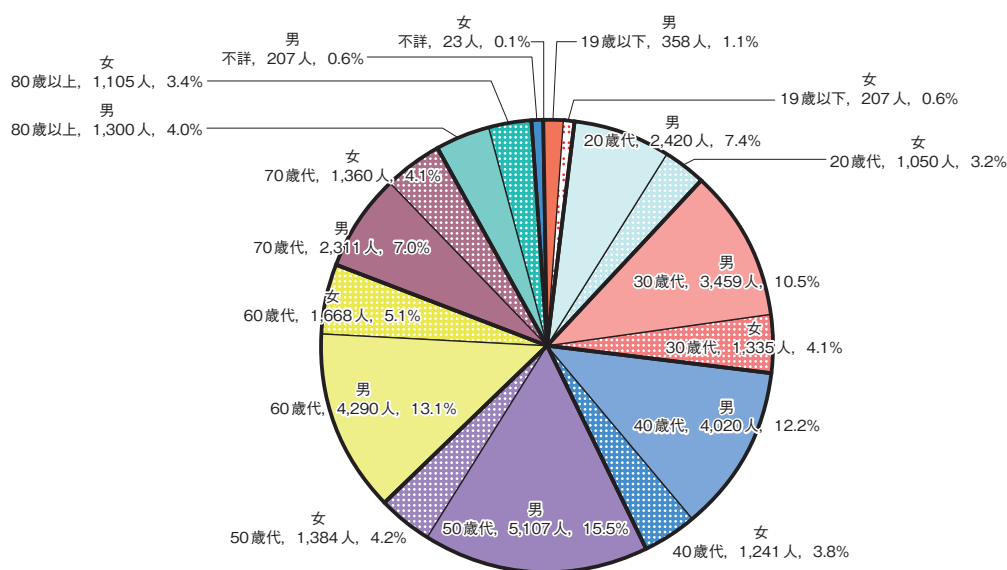
また、男女別の年齢階級別の自殺者数についてみると（第1-12図）、40歳代から60歳代の男性で自殺者全体の約4割を占めている。

第1-11図 平成21年における男女別の年齢階級別の自殺者数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成

第1-12図 平成21年における男女別の年齢階級別の自殺者数

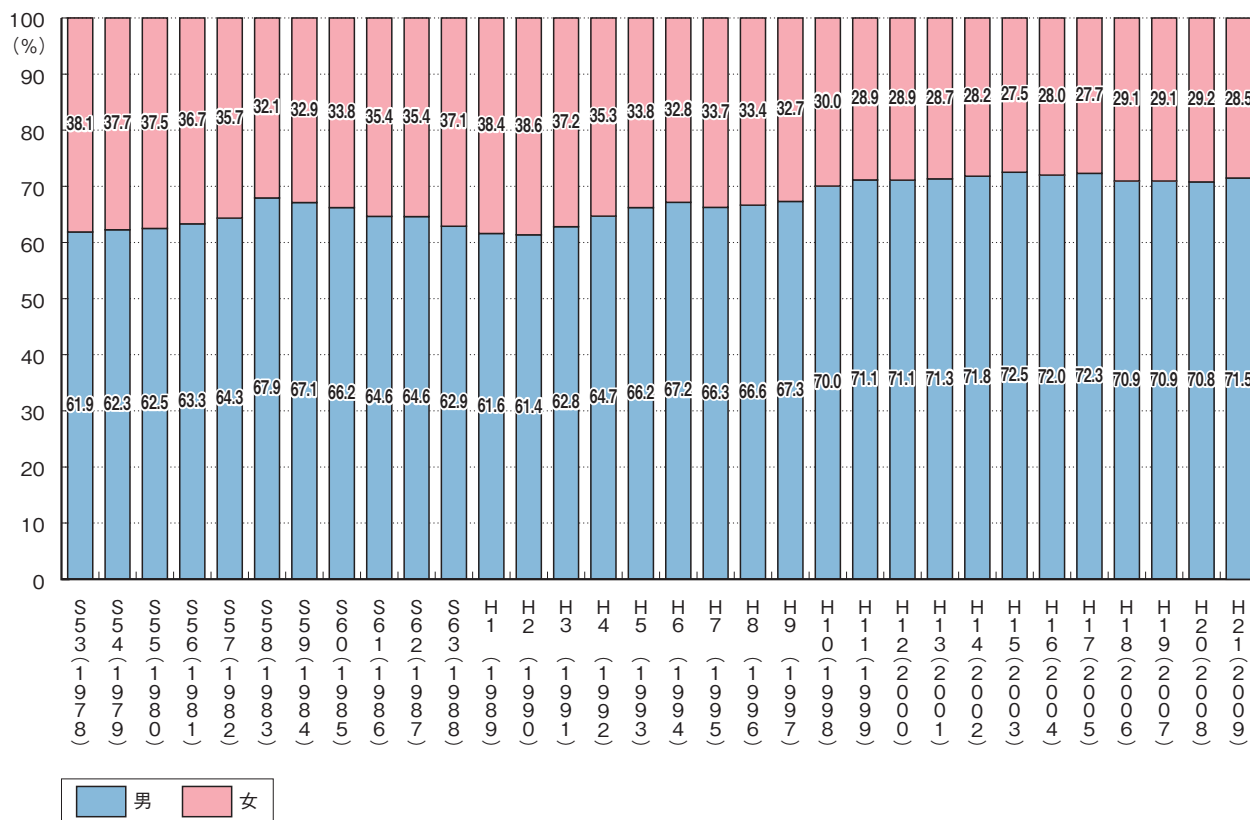


資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成

男女別の自殺者数の構成比の推移をみると
(第1-13図)、自殺者数が急増した平成10
年には、男性の占める割合が初めて7割を超

えて70.0%となり、以後、21年の71.5%まで
男性が7割を超える状態が続いている。

第1-13図 自殺者数の男女別構成比の推移



資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成